

令和5年度 自己評価アンケートまとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっこらぶ

職員による自己評価

- ・これまで2フロアだったものが1フロアになり、利用者の分離や苦手な児童同士の距離感が難しい。
- ・一方で1フロアになった事で全体の把握はしやすくなった。
- ・職員については不足していると感じている。また新任職員が入って来たことで会議、ミーティング等を通して利用者情報の共有を行っている。
- ・活動プログラムが固定されないように工夫はしているが公園等の行き先については固定されてしまっている。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流、及び保護者会の実施は現状では検討していない。
- ・家庭(保護者)の希望する形で面談を実施する事ができた。

保護者による評価

- ・令和5年度より事業所の移転に伴い、これまでよりもややスペースが狭くなったように感じる。
- ・職員の配置数や専門性は概ね適切である。
- ・活動プログラムはある程度固定化しないように工夫されている。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流はないが必要性も感じない。
- ・年に一度くらい活動の様子が見られる機会が欲しい。
- ・個人情報に十分な配慮がなされている。
- ・避難訓練等が行われているかわからない。
- ・子どもは通所を楽しみしていて、事業所の支援にも満足している。
- ・面談や助言が適切に行われている。



事業所内での分析

【共通点】	【相違点】
<ul style="list-style-type: none"> ・移転したことにより以前と比べてより手狭感を感じる。 ・放課後児童クラブや児童館との交流はあまり必要ない。 ・父母会の実施の必要性もあまり感じない。 ・面談や助言について適切に行う事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数に対する職員数が現場としては不足していると感じるが保護者側から見ると充足していると感じ、どの職員に話をしてもある程度共有なされている。

事業所の強み

事業所の改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の移転は一昨年度の統合に続いて大きなイベントになったが、事前準備も含め、スムーズに移行する事ができた。 ・室内活動において移転をきっかけに利用者使用用のパソコンを撤去。それにより工作やカードゲーム等の活動をおこなうきっかけとなった。 ・夏休み中の市民プールでの活動を再開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足がひとつの課題で募集はかけているものの思うように補充ができず、最終的な固定はできていない。 ・学校送迎やその他の動きの中で平日の特に外活動については偏りが出ている。
--	--

事業所の改善への取り組み

- ・移転を無事に終える事ができ、環境設定としては整える事ができたため、令和6年度は一時中止していた余暇活動等も再開したい。また、日々の活動についても室内活動の充実や誕生日会等のイベントの実施を検討していきたい。
- ・職員の確保を順次進めていくと共に、職員育成にも力を入れ、支援、活動の質を上げていきたい。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
----------	----------	-----

24	17	70.8%
----	----	-------